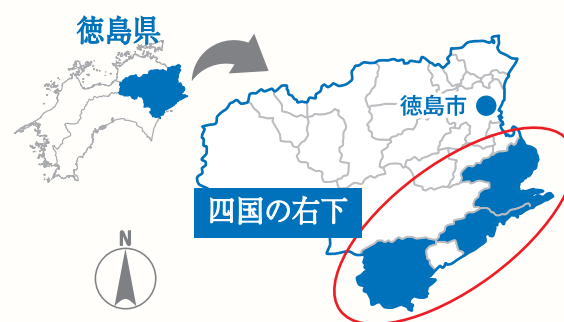




「四国の右下」若者創生協議会 サテライトオフィス誘致拡大事業



「四国の右下」
南阿波
LIFE *Life Time Story
in MINAMI AWA*



阿南市・美波町・海陽町などからなる「四国の右下」は、太平洋に面し、豊かな山と川に抱かれた自然豊かな場所です。古くからお遍路文化が根付きおもてなしの精神があふれ、外から来た人も馴染みやすい土地柄です。「四国の右下」で働きたい！と思ったらすぐに仕事ができる施設も整っています。たっふりの自然、あったかい人たち、快適なオフィス。「四国の右下」で新しい暮らしをはじめてみませんか。

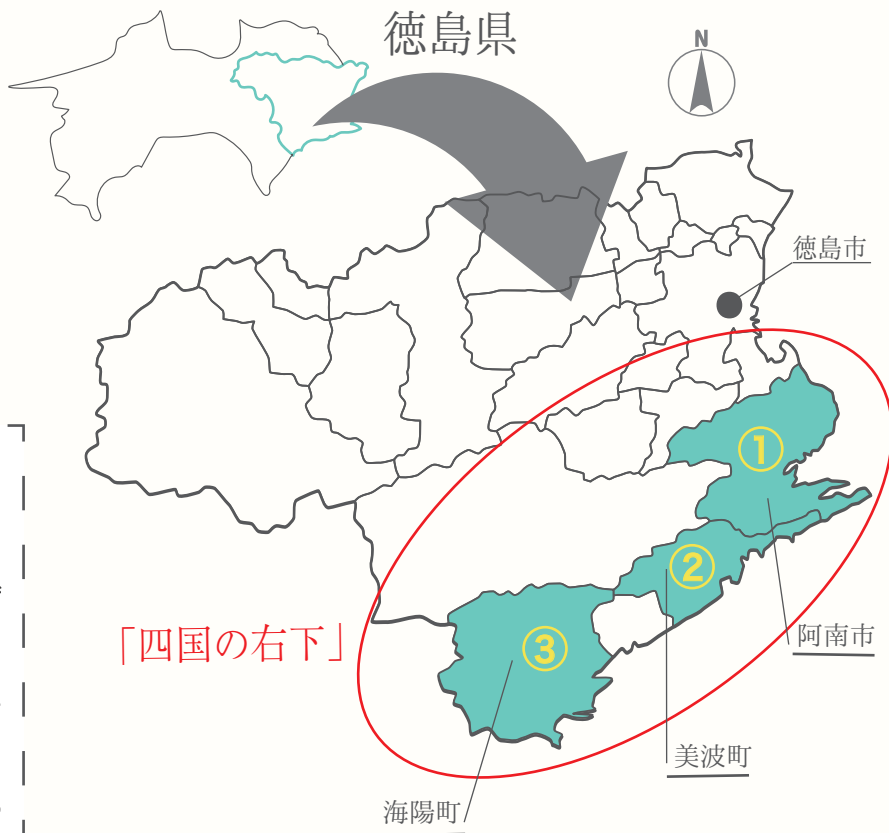
「四国の右下」を舞台にした
地方創生物語が映画になりました！



東京で人材確保に悩む IT 企業の社長が、優秀な若者を求めて向かった先は故郷である徳島県美波町。活気を失った町で悪戦苦闘しながらも、地域の人々に支えられ何とか採用を成功させ、さらに地方創生に向けた新事業にも挑んでいく。本作の原案本の著者でもある株式会社あわえの吉田基晴氏をモデルに、今や全国で注目される SO を活用した地方創生への処方箋について描かれています。

(2019 年 4 月公開)

※SO：Satellite Office の略称



阿南市は四国の最東端に位置し、県内第2位の人口約7万3千人が暮らす街です。徳島市内まで車で約40分、大阪や神戸へ直通バスが運行するアクセスの良さがあつ、豊かな自然にも囲まれ、磯釣りやマリンスポーツも盛ん。特に地元漁協と連携したSUPでの町おこし事業を通じて交流人口を増やし、相乗効果で県南全体の盛り上げを狙っています。工業の町としても長い歴史と知名度を誇り、特に発光ダイオード(LED)の世界シェアはNo.1。青色発光ダイオードを世界で初めて製品化したのも阿南市の企業です。そこで、「光のまち阿南」を目指し、市内でのLEDを使ったイベントや産業振興施策を進めてきました。さらに阿南市では、阿南工業高等専門学校をはじめとする地域の教育機関と密に連携をとることで、地元の若手人材を活用した取組みも今後積極的に展開することが可能です。ほどよく田舎で、都会にも近い。生活インフラも整い、不便もあるけど不自由ではない街、阿南市。特色を生かしたより良いまちづくりを目指しています。

Working Space



◆あなんスマート・ワークオフィス

阿南市に進出を検討される企業の方は、是非ご利用ください。簡易キッチン併設したコワーキングスペースと会議室があり、Webカメラやディスプレイ、Wi-Fiといった基本設備は整っていますので、すぐに業務を始めることができます。都市圏からの人の流れや起業家の支援による地域経済の活性化を図るとともに、在宅ワークなどの新しい働き方を提案しています。

What's MINAMI AWA?

海陽町3 kaiyou town



海陽町は徳島県最南端に位置する、人口約9,400人の町です。2006年に海南町、海部町、穴喰町が合併して誕生しました。町の産業は林業と漁業で大きく栄えましたが、現在は進歩する技術への対応と後継者不足に悩んでいます。しかし、キャンプやマリンスポーツなどのアクティビティができる自然は毎年多くの人々を呼び込んでいます。1200haの森林地帯。「平成の名水百選」に選ばれた海部川。きれいな波の立つ、リアス式海岸の砂浜。山・川・海がひとつの町の中にあり、その水の循環が生まれることで豊かな自然を育んでいます。海陽町はどこにいても自然の偉大さを感じることができる地域です。海陽町が目指すのは、参画企業の技術や想いが、地域に色を添えていくような町づくり。“まち資源”を活かした事業が展開できるよう、町が主体となってそのための仕組みを作っていきます。参画企業と町の相乗効果が生まれることで、海陽町がより住みやすく、より良い町になることを望んでいます。

Working Space



◆コワーキングセンター城山荘

どなたでも1日から利用できる循環型のシェアオフィスです。自由に使えるオープンスペースをはじめ、飲食店営業や加工品販売も可能な調理場があります。目の前には海が広がっており、シャワールームやロッカールームも完備しているため、仕事の合間に気分転換でマリンスポーツを楽しむこともできます。参画企業や地元住民、“まち資源”を活用している産業従事者が交流する場を、自治体も一緒になって作っています。海陽町では、当施設を拠点として官民一体となった取組みが始まっています。

minami town2 美波町



美波町は、2006年に日和佐町と由岐町の2町が合併して誕生した人口約6,800人の町です。太平洋の大海原と山の自然、澄み切った川などの大自然に囲まれている美波町は、昔から漁業の盛んな町として有名です。また、四国八十八ヶ所23番霊場「薬王寺」の門前町として栄え、年間約100万人の観光客が訪れます。訪れる方を温かく迎え入れる文化が今も人々の心に根付いている観光地です。文化を残し伝えていくことを大切にしている美波町では、古い時代から残っている建物を活用し、今の時代に合った形で新たにその建物に息を吹き込む活動が盛んに行われています。しかし、地元を離れる若者は増加し、高齢化率も年々上がっています。そこで、2012年からサテライトオフィスの誘致を開始。今では19社(※2019年4月現在)の企業がサテライトオフィスを開設しています。そんな美波町は、サテライトオフィス誘致の先進地として、人や物、地域に息づく文化を活かし、地方で人が暮らし働き続けられる町としてのモデルづくりを行っています。

Working Space



◆ミナミマリンラボ

県の水産研究課の一部を改修し誕生した「ミナミマリンラボ」。窓の外に太平洋が広がる開放的なコワーキングスペース(STUDIO)や、遠隔ミーティングもできる会議室(LIBRARY)、発表会や休憩所としても使える多目的スペース(CAFE)など、用途に合わせた使い方が可能で、申請をいただければどなたでも利用可能です。利用者の方が仕事をしながら、地域の文化や自然に触れ、地元の方とも交流を重ねられるよう、様々なサポートも行っています。

LEDの世界シェア一位、光のまち阿南市
便利さとほどよい田舎感が共存する活気ある街

四国八十八ヶ所23番霊場・薬王寺の門前町、美波町
昔から人々の心に根付くお接待文化による温かい港町

5分で Work Switch Play



仕事も遊びも、全力で楽しむ！

オフィスワークをいつもの職場から持ち出し、場所に縛られずに自由に働くスタイルを求めて、若者が「四国の右下」に集まり始めています。日本屈指のITインフラと手付かずの大自然。自然と地域に寄り添いながら仕事をバリバリとこなす若者の姿は、この地域の新しい風景になっています。「四国の右下」は、剣山を背に、多くの清流が土地を潤し、黒潮の流れる太平洋へと広がる自然豊かな土地です。サーフィン、釣り、ダイビング、カヤック、キャンプにロッククライミング・・・etc. ビギナーから本格派まで楽しめるアクティビティが満載です。

「四国の右下」でバリバリ仕事ができる4つの理由



「四国の右下」を遊び倒せる4つの理由



地方に移住し、暮らしと仕事を両立

住吉 二郎さん 職業：IT エンジニア

大好きなサーフィンと寄り添う人生を求めて、2012年に生まれ育った関東から移住してきました。高速ネット環境と潮風を感じる快適なオフィスのおかげで、仕事と遊びを高いレベルで両立できています。サーフィンをした後に、パソコンに向かって仕事をするのもよくあるのですが、通勤ラッシュに揉まれていた時間に趣味を楽しめるって最高です！



Work Switch Play



朝は波のチェックから始まります。日本有数のサーフスポットが目白押しのエリアなので、太平洋から届くうねりの恩恵を受けた素晴らしい波がいつも出迎えてくれます。「波乗りしてから出勤」は、「四国の右下」では日常の光景です。

本気の地方創生を目指し、地方へ

高畑 拓弥さん 職業：地域人材育成コーディネーター

商社マンとしてインドネシアに駐在した際、日本再興には地域活性化が欠かせないと感じ、地方で教育事業を起こすことを決めました。海陽町で活動する企業の代表と東京で出会ったのをきっかけに移住を決意。町初の定住型SO企業としてスローライフ志向とは異なる本気の地方創生を目指し、危機意識・変革意識の高い海陽町の行政機関と共に、地域活性化事業をマルチタスクで推進しています！



Work Switch Play



私の勤務体系は、就労時間マネジメントではなくプロジェクトマネジメントなので、天気の良い日は午前中で仕事を切り上げて、お昼からBBQをしたり、この環境を存分に堪能しています。「平成の名水百選」に選ばれる海部川沿いでのBBQや、透き通った海でのSUPクルージングは最高のリフレッシュです。

Local Issue Business



地域課題からビジネスを起こす！

「四国の右下」ではサテライトオフィスを事業開発拠点として活用し、地方独自の事業創造にチャレンジする企業が増えています。人、技術、防災対策...etc. “足りていないこと”が多い地方だからこそ、企業が持つスキルと技術が必要とされ、それがビジネスになる。一つのエリアで成功モデルを作ることができれば、日本中の過疎地へ横展開していける地域課題解決ソリューションにもなりえます。「地方でもできる仕事」から「地方でしかできない仕事」へ。「四国の右下」は地域課題をビジネスに変える企業を応援します。

「四国の右下」だからこそできる産官学民の連携体制

「四国の右下」に集う企業はそれぞれの得意分野を活かし、地域課題・地域ビジネスに取り組んでいます。そんなSO企業とともに、国や自治体、教育機関と住民が協力し、地域一丸となって地域課題解決を目指しています。例えば、南海トラフ地震に備えた減災ソリューション開発事業。SO企業と自治体、大学が連携し、津波などの災害時に既存の通信網が寸断された場合でも、避難者の位置情報が把握できる通信ネットワークを構築。住民参加で、避難訓練での実証実験を成功させました。実証実験で得られたデータは、避難経路の策定などに役立てられています。

産官学民連携で進める実証実験

IoTで災害対策！



「四国の右下」でSO企業が活躍できる理由

- 1 SO企業誘致実績26社！
受入体制が整っている！
- 2 オープンマインドで
世話好きな地域性！
- 3 遊びも仕事も本気！
「四国の右下」だからできる
クリエイティブワーク！

「四国の右下」には現在26社（2019年4月現在）が進出しており、IoT企業を中心に、デザイン、コンサルティング、人材育成、建築設計など、その事業領域は様々。特にIoT技術を持つ企業はIT化の進んでいなかった分野にイノベーションを起こし、存在感を発揮しています。企業が「四国の右下」で活躍している背景には、SO企業誘致に関する豊富な経験と実績が自治体側にあることが理由の一つ。「企業と一緒に地域をよくしたい」という想いが地域にあるため、SO企業との交流も活発に行われています。お遍路文化が根付き、オープンマインドで世話好きな土地柄もSO企業が地域に馴染む後押しとなっています。そして、遊びも仕事も本気で取り組む人が多く、「四国の右下」の発展的でクリエイティブな取組みを支えています。

美波町

大規模イベント運営を地元学生と共に

IoTでイベントの
運営負担を軽減！



美波町にSOを置く、株式会社イーツリーズ・ジャパン（本社・東京）のICTタグとセンサーを活用したタイム計測システム

（みなみえる）は、ロードバイク大会などで試験導入が始まり、運営人員確保に悩む自治体の負担軽減を図っています。独自の自然を活かした大規模アウトドアスポーツイベントが多数開催される「四国の右下」で運用を成功させた同システムは、県外のイベントでも実績を拡大中。ローカルから全国へビジネスが育みつつあります。さらに、同社は阿南高専などから学生を積極的にインターンシップ生として受け入れていて、地域の若手人材育成にも寄与しています。

海陽町

CFも大成功！地元産牡蠣養殖に挑む

水産業を通じ、
地方再興から日本再興へ！



株式会社リプルは、都会から海陽町に移住した元商社マンたちを中心に、2018年に創業。生食用牡蠣「あまべ牡蠣」の

養殖とブランド化に取り組んでいます。IoT技術を使って牡蠣の状態や海の環境を遠隔で確認できるスマート漁業を導入し、品質保持と省力化を同時に実現。人材不足が深刻な水産業を、若者たちにとって魅力的な働き場とするため、実績作りに挑んでいます。他にも、すたちなどの柑橘類の廃棄部分を牡蠣養殖に再活用したり、海外への直販マーケット開拓を狙ったりと、地元住民と協力しながら「世界一おもしろい水産業」を目指し、挑戦を続けています。

阿南市

働きたい主婦に活躍の場を！

在宅ワークで
地域人材を活用！



住宅リフォーム会社の集客代行事業などを手掛ける株式会社ブックスタンド（本社・大阪）は、地域の人材

活用と自社の採用活動を狙い、あなんスマートワークオフィスで主婦に向けた在宅ワーク講座を開催しています。リフォームを検討するユーザーが集客サイトにて相談や見積もり依頼を書き込んだ際に、リフォーム会社からの返信業務を代行している同社。女性が家事の合間に自宅で業務が行えるよう、全4回の講座でノウハウを教え、講座終了後は実際の業務に携わってもらいます。働きたい女性に活躍の場を提供し地域の人材活用に貢献しています。

Satellite Office Style

それぞれに合ったサテライトオフィスのカタチ

柔軟に選べる2つのスタイル

1 \ 地域にどっぷり！/ 滞在型サテライトオフィス



スタッフが常駐し、古民家や空家等をリノベーションしたオフィスを活用しながら運営するワークスタイルを「滞在型サテライトオフィス」と呼びます。ニアショア開発業務・運用サポート業務等を行う企業はもちろん、地域に根ざした事業開発を行いたい企業にお勧めのスタイルです。

2 \ いつでも自由に！/ 循環型サテライトオフィス



地方にオフィス所有せずシェアオフィスやコワーキングスペースを利用しながら、都市部と地方を行き来して仕事をするワークスタイルを「循環型サテライトオフィス」と呼びます。定期的に地方の拠点を訪れ、少しずつ地域のコミュニティに参加しながら地域ビジネスを広げていきたい企業にお勧めのスタイルです。

サテライトオフィス開設までのSTEP

現地視察

地元の雰囲気を知りたい！
地域の課題を体感したい！



1ヶ月程度

体験利用

サテライトオフィスで働ける？
地域ビジネスの可能性を検証！



1ヶ月程度

循環型SO

ビジネスアイデアを検証開始！
住民の声を聞きながら改善！



6～12ヶ月程度
直ぐにオフィスを持つのもOK

滞在型SO

地域に根ざした事業展開！
地元不可欠な企業に！



6ヶ月程度

「四国の右下」サテライトオフィス認定制度

サテライトオフィス認定要件

- 次の(1)(2)(3)の条件のうち2つ以上に適合すると認められるもの
- (1)「四国の右下」地域に滞在型SOの開設を検討する企業
 - (2)「四国の右下」地域にて循環型SOを年10日以上実施している企業
 - (3)年1回以上、SO誘致に関する取組みへの協力を行っている企業

認定を受けた企業は
下記サポートをご利用いただけます。

多彩なサポート内容

- 現地までの移動コストや滞在コストの低減サービス
- 現地滞在施設やコワーキングスペースの優先的利用
- 地域の祭や行事、企業同士の交流イベントなどの情報提供

\ 移動・滞在コスト、低減サービス /

徳島県内の移動と、県南部での宿泊にかかるコストを低減できるサービスをご用意しております。
※徳島県までの移動はサービス対象外です。

公共交通機関	→	交通費の半額を補助(IoT関連企業は2/3補助)
レンタカー	→	レンタカー代、ガソリン代、共に定額補助
SOシェアカー	→	1000円で最大1週間レンタル
自動車	→	ガソリン代定額補助
宿泊	→	滞在中の宿泊費を半額助成(最大13泊まで)

サービス詳細は下記までお問い合わせください。

株式会社あわえ
TEL: 0884-70-5831 MAIL: info@awae.co.jp

※1社あたりの上限あり

Support & Contact.info

補助金・サポート体制とお問い合わせ

本冊子・SO に関するお問い合わせはこちら

「四国の右下」SO コンシェルジュ

株式会社あわえ 
美波町に本社を構え、主にSO企業誘致コンサルティングや地域広報支援を行っています。SOに関して、何か疑問・質問ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい！

Contact Us

0884-70-5831
info@awae.co.jp

\ HP・お問い合わせ /

https://www.awae.co.jp/contact

各自治体のサポート詳細 (補助制度に関するご質問は各自治体までお問い合わせ下さい。)

阿南市 anan city

阿南市への移住を検討している方に向けて、市内に宿泊し住居や仕事探しなどをする際の助成制度を設けています。円滑に移住や業務を開始できるようサポートを行っていますので、阿南市への進出にあたり、何かご質問あればいつでもお問い合わせください。

\ 詳細はこちら！ /



Contact Us

阿南市役所産業部
商工観光労政課
サテライトオフィス担当
0884-22-3290
shoukou@anan.i-tokushima.jp

美波町 minami town

美波町では、新たに住民になることを希望する方に対する空き家改修費の補助などの支援制度を設けています。進出企業が地域にいち早く馴染むために、地域住民との交流の場やイベントを多数設け、地域に根ざした企業になるためのサポート体制が整っております。

\ 詳細はこちら！ /



Contact Us

美波町役場政策推進課
サテライトオフィス担当
0884-77-3616
seisakusuishin@minami.i-tokushima.jp

海陽町 kaiyou town

海陽町に移住・定住する方向けに、空き家改修費用の補助サポートを設けています。コワーキングスペース城山荘を拠点に、すでに海陽町に進出している企業と連携を取りながら、新しいビジネスに向けて走り出すためのサポートを全力で行います。日本屈指のサーフィンのメッカですので、趣味と仕事を両立するライフワークバランス環境も抜群です！

\ 詳細はこちら！ /



Contact Us

海陽町役場産業観光課
サテライトオフィス担当
0884-76-1511
0000.info.jp

南部総合 県民局 tokushima prefecture

各自治体と協力しながら、徳島県からもサポート体制を整えております。県と地域が一丸となり、サテライトオフィス進出企業のバックアップを全力で行っています！
雇用者賃金補助 / 事務所賃料補助 / 回線使用料補助 等

\ 詳細はこちら！ /



Contact Us

徳島県南部総合県民局
地域創生部
地域振興担当
nanbu_c_m@pref.tokushima.jp